


不登校対策事業

「あたご <sup>スペース</sup>Space」



の開設に向けた説明会



多摩市ユネスコ  
スクールイメージ  
キャラクター  
「ゴーヤン」

多摩市教育委員会

# 多摩市教育委員会 挨拶



多摩市ユネスコ  
スクールイメージ  
キャラクター  
「ゴーヤン」

# 東愛宕中学校 挨拶




多摩市ユネスコ  
スクールイメージ  
キャラクター  
「ゴーヤン」

# 本日の予定

 「あたご Space」の概要

 「あたご Space」のQ&A

 質疑応答（個別相談会）

## 不登校対策事業



# 「あたご Space」の概要

- 概要(他の学校との違い・目的・支援のキーワード)
- 指導の方針
- 入級や退級について

# 💡 「あたごSpace」とは？

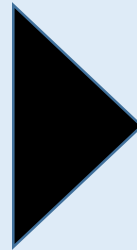
不登校の生徒へ実態に応じた支援を行うために中学校に校内別室学級を設け、教員を配置する。

## イメージ

これまで(令和6年3月31日まで)



東愛宕中学校  
【通常学級のみ】



これから(令和6年4月1日から)



東愛宕中学校  
【通常学級と**校内別室学級**】



# 「あたごSpace」と他の学校の違い

## 学びの多様化学校 (分教室)

- 設置校に転学
- 特別な教育課程
- 設置校と違う場所

### 【例】

- 調布市立第七中学校  
「はしうち教室」
- 福生市立福生第一中学校  
「7組」

## 適応(指導)教室

- 在籍校に所属
- 在籍校の教育課程
- 教育センター

### 【例】

- 多摩市教育センター内  
適応教室「ゆうかり教室」

## 校内別室学級

- 設置校に転学
- 設置校の教育課程
- 設置校の校内

### 【例】

- 東愛宕中学校内に設置  
「あたごSpace」



# 「あたご Space」とは？

## 対象となる生徒

### 【対象】

☑現小学校6年生から中学校2年生

☑年間 30 日以上欠席し、何らかの心理的、情緒的、身体的あるいは社会的要因・背景により、登校しないあるいはしたくてもできない状況にある生徒

☑断続的な不登校又は不登校の傾向が見られる生徒





## 「あたご Space」の指導方針

### 📎 名称の由来

「あたご Space」という名称には、校内別室が生徒にとっての「居場所(Space)」となり、また、この別室には「宇宙(Space)のような大きな可能性がある」という2つの願いを込めています。

### 📎 校内別室学級設置の目的

不登校生徒が安心して学校生活を送ることができるようなゆとりある生活時程を実現し、実態に応じた支援を行います。



# 「あたご Space」の指導方針

## 支援のキーワード

整える

登校日数の増加

ゆとりある生活時程の中で「リフレッシュタイム」などを取り入れ、生活リズムや心身の状況を整え、在籍前の年度より登校日数を増やしていきます。

分かる

学習内容の定着

一人一人の学習状況に合わせた個別学習やグループ別学習など指導方法や指導体制の工夫改善に努め、学習内容を確実に身に付けることができるようにします。

つながる

学校・相談機関とのつながりの構築

個別支援計画を活用し、関係機関と連携を図り「学校内外の機関等による相談・指導等を受けていない生徒数」を0にしていきます。



# 「あたごSpace」の指導方針

## 指導方針

### 指導方針①

- ・ ゆとりある生活時程と学び直しの可能な1単位時間の授業構成

### 指導方針②

- ・ 体験的な学習とICTを効果的に活用した学習活動の工夫

### 指導方針③

- ・ 個別最適な学びや協働的な学びの一体的な充実を図り、「学びの選択」ができる教室レイアウト

### 指導方針④

- ・ 個別支援計画を基にしたアセスメントと生徒・保護者との定期的な面談

# 「あたご Space」の指導方針

## 指導方針①

- ・ ゆとりある生活時程と学び直しの可能な1単位時間の授業構成

### 📎「ゆとりある生活時程」とは？

時間割例

通常学級	別室学級	生活時程	月	火	水	木	金
1校時		～9:30	登校				
		9:30～9:35	朝の学級活動				
		9:35～9:45	リフレッシュタイム(軽運動)				
2校時	1校時	9:50～10:40	学活	社会	道徳	英語	保体
3校時	2校時	10:50～11:40	国語	英語	理科	理科	数学
4校時	3校時	11:50～12:40	技術/家庭	数学	保体	国語	社会
		12:50～13:10	給食				
		13:10～13:30	昼休み				
5校時	4校時	13:35～14:25	総合	音楽	美術	総合	
6校時		14:30～14:40	清掃				
		14:40～14:50	帰りの学級活動				
		15:00	下校				

□1日3～4コマ(週19コマ)  
⇒通常学級よりも1日2コマ少ない  
(週10コマ少ない)

□1時間目の開始が通常の2時間目  
⇒心身の調子を整えることを目的に1時間目の時間は「リフレッシュタイム」(軽運動、ソーシャルスキルトレーニング)を実施する。





# 「あたごSpace」の指導方針

## 指導方針①

- ・ ゆとりある生活時程と学び直しの可能な1単位時間の授業構成

### 📎「学び直しが可能な1単位時間」とは？

#### 1単位時間の展開例

	内容
前半 20分	<b>【個別(学び直し)の時間】</b> ◇後半で学ぶ内容について、個別で追究したり、学び直したりして、補充の学習をします。
後半 30分	<b>【協働(学び合い)の時間】</b> ◇前半で学んだ内容を活用して、他の生徒と協働的に学んでいきます。

□1単位時間50分の授業を前半と後半に分けます。

ICTを活用して個別の学習と、協働的な学習に取り組みます。



# 「あたごSpace」の指導方針

## 指導方針②

- ・体験的な学習とICTを効果的に活用した学習活動の工夫

### 📎「体験的な学習」とは？



美術、音楽、技術・家庭等での  
体験活動の充実

□生徒の学習への意欲を喚起できるよう、  
体験的な活動を多く取り入れます。

例)

- ・音楽・美術の鑑賞、創作活動でのゲストティーチャーを招いた授業
- ・プログラミング、調理実習

□生徒の希望に応じて、通常学級の総合的な学習の時間や部活動の体験を行うことができます。



# 「あたごSpace」の指導方針

## 指導方針②

- ・ 体験的な学習とICTを効果的に活用した学習活動の工夫

✎ ICTを効果的に活用した学習活動の工夫とは？



オンラインでの授業参加

- 登校が難しい場合は、オンライン会議システムを活用して、授業に参加することができます。
- オンライン会議システムで双方向のやり取りが難しい場合は、メッセージのやり取りで学習に参加することも可能です。



# 「あたごSpace」の指導方針

## 指導方針③

- ・ 個別最適な学びや協働的な学びの一体的な充実を図り、「学びの選択」ができる教室レイアウト

パーソナルラーニング  
スペース



リフレッシュスペース

コラボレーションスペース

学びたい方法を選  
択できる

心身の状況に  
応じて選  
択できる

- 場の選択、学び方の選択が可能
- ◆「パーソナルラーニングスペース(個別学習スペース)」  
⇒ 学び直し・調べ学習
- ◆「コラボレーションスペース」  
⇒ 協働的な学習
- ◆「リフレッシュスペース」  
⇒ 気持ちのコントロール、リフレッシュ





# 「あたごSpace」の指導方針

## 指導方針④

- ・ 個別支援計画を基にしたアセスメントと生徒・保護者との定期的な面談



個別支援計画を基にした支援会議



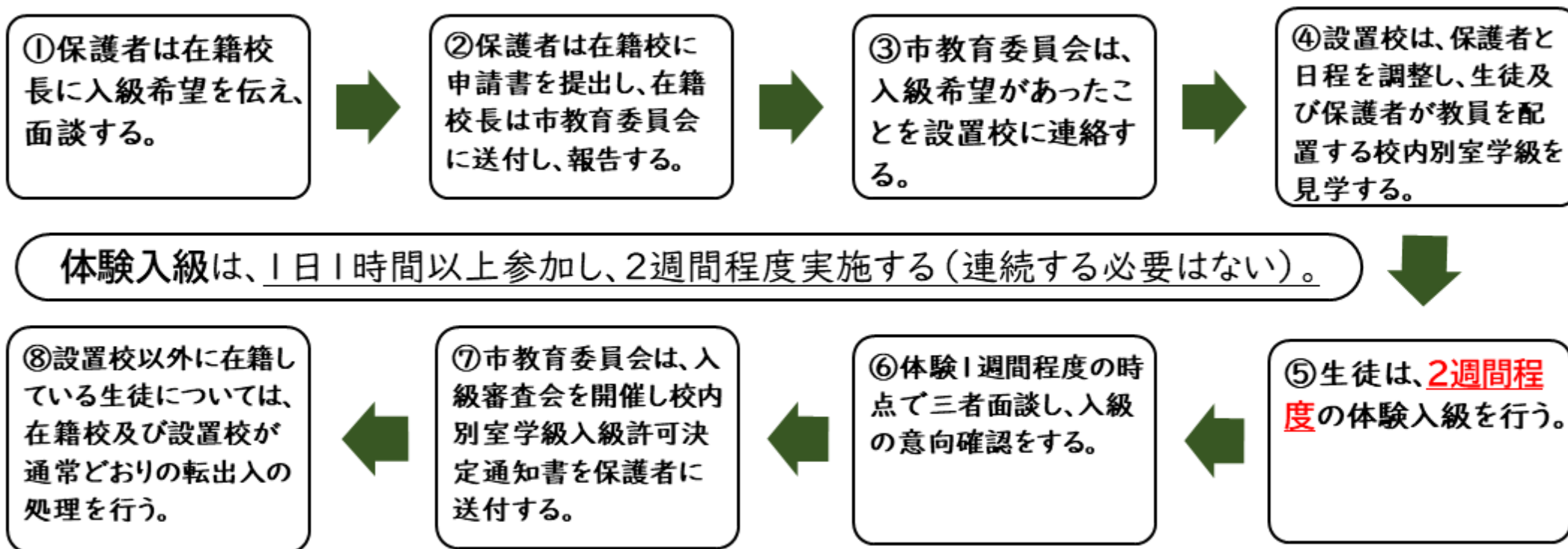
定期的な面談

□学校は「個別支援計画」を作成し、その計画を基に支援方針を立てていきます。  
「個別支援計画」を活用し、生徒や保護者と定期的に面談を行い、生徒の学びを支援していきます。



# 「あたごSpace」の入級の流れ(令和6年4月以降)

## 入級までの流れ

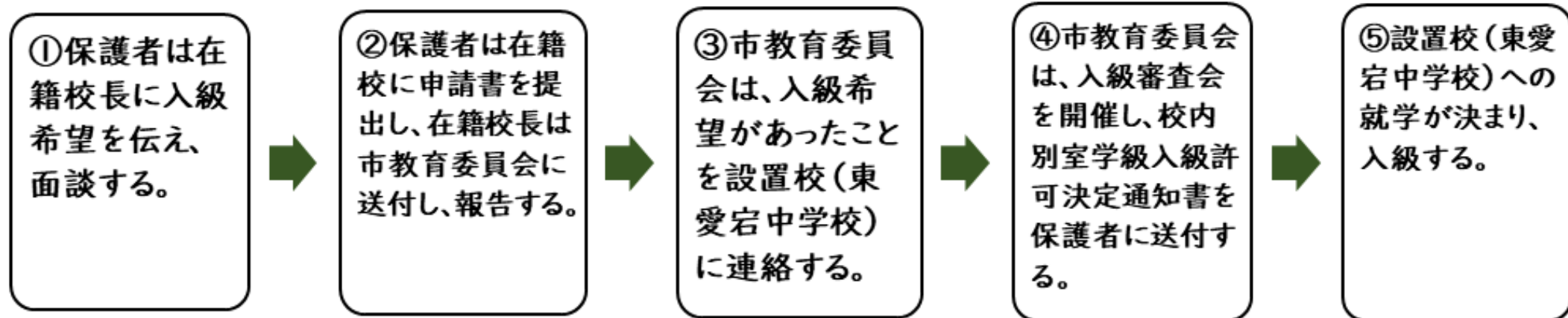


体験入級は、1日1時間以上参加し、2週間程度実施する(連続する必要はない)。

※入級が決まったら、東愛宕中学校の在籍になります。

# 「あたごSpace」の入級の流れ(令和6年3月まで)

## 入級までの流れ



□令和6年3月までは、あたごSpaceが設置されていないので、体験入級は行わず、入級審査を経て、入級になります。

□入級を希望する場合は、必ず今の在籍校の校長に希望を伝え、面談を行うようお願いします。



# 「あたご Space」の入級について

## 入級の条件

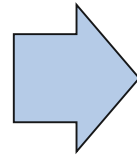
- 体験期間中、オンライン対応も含め、おおよそ6割以上参加していること。ここでいう「参加」とは、1日のうち1時間でも参加できた場合。**(令和6年4月以降)**
- 生徒、保護者ともに教員を配置する校内別室学級に入級することを同意していること。
- 生徒が通学に対して意欲的であり、学習に取り組むことができること。
- 原則、自力で通学が可能なこと。



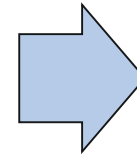
# 「あたごSpace」の退級について

## 退級の条件

保護者が設置校の校長に申し出て面談を行い、退級届を提出する。



退級審査会を行い、審査を行う。



退級が認められ、在籍校(地域の学校)に戻る転校の手続きを行う。

□退級に当たっても入級と同様、面談を行うことが必要です。

## 不登校対策事業



# 「あたご Space」のQ&A

- あたごSpaceについて主な質問
- これまで問い合わせがあった質問



# 質疑応答（個別相談会）



多摩市ユネスコ  
スクールイメージ  
キャラクター  
「ゴーヤン」